

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2018年10月1日～10月19日
------------------	-----	-------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士、蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)
--------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のアセスメントの段階から、介護支援専門員以外の職員も積極的に関わるようにしていく (利用する前から本人・家族と顔を合わせる機会が作られることで、良好な関係構築に取組みやすくなる)</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前のアセスメントの際に、担当となる介護職員が介護支援専門員と同行するようにした。そのことで利用前に本人・家族と顔を合わせる機会が作られることで、良好な関係を築いていく取っ掛かりにはなったと思われるため、今後も継続していく必要がある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	12			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	11	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規で利用開始となった利用者に対しては、関わりを多く持つようにして情報を得ると同時に、安心感を与えることができるよう努めている。</li> <li>・アセスメントの段階から、介護支援専門員と一緒に同行することで情報収集し把握しやすくなった。</li> <li>・利用時に会話を持つように意識し、希望や不安などを聞くようにしている。</li> <li>・アセスメント用紙や他関係機関からの情報を回覧もしくは申し送り等が共有している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前のアセスメント時の同行は、担当を持っていないため関わる機会が少ない。</li> <li>・担当以外の利用者との最初の関わりができなかった。</li> <li>・日々の状態程度の情報交換しかできておらず、不安等を相談いただく程のコミュニケーションが図れていない。</li> <li>・利用者の細かい情報が不足していることがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のアセスメントの段階から、介護支援専門員以外の職員も積極的に関わるようにしていくことは継続していく。(利用者・家族との関係構築のため)</li> <li>・担当以外等により十分な情報把握ができにくい場合でも、受け身ではなく自ら確認する意識を持つ。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士、蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	6人	0人	14人

前回の改善計画

- 自分の担当する利用者に限らず、全員の目標（ゴール）を把握する。目標達成を意識して普段から関わるように取り組んでいく。（普段の会話から本人・家族の意向を確認するよう心掛ける）

前回の改善計画に対する取組み結果

- 目標（ゴール）については概ね把握することができたと思われるが、目標達成に向けた具体的な関わり方についての話し合いが不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		12	2		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	10	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7	7		14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	4	8	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 会話の中から本人のしたいことや目標を聞くことができる。
- 担当の利用者については概ね把握できている。
- 記録を見返すようにして、今の状態を考えながら「～したい」にどうつながるか考えるようになった。
- ライフサポートプランの見直しを定期的実施し共有していることで目標の把握ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 担当以外の利用者に関しては十分といえない。
- 記録で確認したり都度話し合いをしていることもあるが、ミーティングの場で話し合う場面が少ない気がする。（職員会議等で積極的に発言できていなかった）
- 利用者本人の目標なのか家族の希望なのかわからない部分もある。
- ライフサポートプランを回覧しているが、理解と把握ができていないと思われる。
- 意識的な会話や関わりができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ミーティングの機会を活用して積極的に意見交換することで利用者本人の意向や目標を把握し、実現に向けた関わりができるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤、齋藤大、北島、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士  
蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	2人	1人	14人

前回の改善計画	・「以前の暮らし方」についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。 (意識的な会話を行う。家族からの聞き取りを行う)
前回の改善計画に対する取組み結果	・以前の暮らし方の把握については十分にできなかった。普段の会話や家族とのやり取りは行っているものの「以前の暮らし方」を意識してのものではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	9	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8	1		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	9	2	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に合わせた基本的な介護や、その時の状態の変化に合わせた対応もできていたと思われる。</li> <li>・会話や日々の経過記録である程度の情報共有はできている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「以前の暮らし方」の把握ができていない。突っ込んで聞きにくいところもある。</li> <li>・自ら情報を収集しようとする姿勢が足りない。</li> <li>・「以前の暮らし方」の把握を意識して会話を行えていなかった。</li> <li>・コミュニケーション不足である。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴や以前の暮らし方の把握をするため、まずは今ある情報の確認を行う。その上で不足している情報を収集する関わりを自ら率先して行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士、蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	5人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での様子や地域との関係性についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。(意識的な会話を行う。家族からの聞き取りを行う)</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での様子については、普段の会話や家族とのやり取りである程度把握はできるが、地域との関係性についての情報収集はあまりできていなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	3		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	7	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8	6		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	10	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートや普段のコミュニケーションから、生活スタイル等は概ね把握できている。</li> <li>・送迎時や訪問時に家族との会話を持つようにしている。</li> <li>・地域の社会資源について、去年は言葉すらわからなかったが、1年を経て理解することができた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関係性については十分に把握できていない。</li> <li>・地域の社会資源の把握ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴や以前の暮らし方の把握をするため、まずは今ある情報の確認を行う。その上で不足している情報を収集する関わりを自ら率先して行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士、蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	4人	0人	14人

前回の改善計画	・自宅での様子や地域との関係性についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。 (意識的な会話をを行う。家族からの聞き取りを行う)
前回の改善計画に対する取組み結果	・自宅での様子については、普段の会話や家族とのやり取りである程度把握はできるが、地域との関係性についての情報収集はあまりできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	9		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	10			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	7	3		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	11			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・その時の利用者の状態、家族の状態に配慮した柔軟な対応ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わりは、特定に利用者と特定の資源活用に留まっている。</li> <li>・個々の地域の社会資源と利用者とのつながりを意識した関わりができていない。(利用者、家族が望まないケースもある)</li> <li>・十分は話し合いがなされていない。</li> <li>・情報収集不足である。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ミーティングの機会を活用して積極的に意見交換することで利用者本人・家族の意向を確認した上で、地域の社会資源を活用した関わりができるように取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

6. 連携・協働

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士  
蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	4人	14人

前回の改善計画	・サービス機関や地域団体の会議には積極的に参加する。また、登録者以外の地域住民が事業所を訪れる機会を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・会議への参加については、職員（職種）によって違いがあった。登録者以外の地域住民が訪れる機会の確保は少なからず実績はあることから今後も引き続き検討していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	2	8	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		3	4	7	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4	5	5	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		6	3	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の総会へ参加することで、活動内容や地域の問題を知ることができた。</li> <li>・町内会の側溝清掃に参加して交流が図れた。</li> <li>・行事に地域にある保育園児を招き交流が図れた。また、地域の高校（奉仕活動）や中学校（職場体験）との関わりを行っている。</li> <li>・運営推進会議に職員が交代で参加している。</li> <li>・医療機関との情報交換の機会や退院前の話し合いの場に参加している。</li> <li>・登録者の友人が面会のため来所することはある。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス機関との会議には参加できていない。（参加職員が特定されている）</li> <li>・登録者以外の高齢者や子供について、普段は来所することはない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が地域の活動や会議等へ参加することができる機会を確保していくことで、地域交流の意識を高めていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

7. 運営

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士、蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画	・利用者、家族、地域からの意見や苦情があった場合には、速やかに検討する機会を設け、運営に反映させるよう取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・意見や苦情に対し、速やかに検討し運営に反映させるような取組みがある程度できていたと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	5	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	8		1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	3	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	7	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・主に利用者・家族からの苦情や意見に対し、職員間で対応を協議することで真摯な対応ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議での意見交換はできているが、その他住民との関わりや協働した取組みがほとんどできていない。</li> <li>・地域に必要とされる拠点として努力はしているが、認知度はまだ低い。</li> <li>・事業所自体のあり方等について内部で検討する機会があまりないため職員の意識が低い。</li> <li>・利用者本人が満足しているのかどうか、満足してもらえるようにどうすべきか、自分のアイデアや発想が足りないと感じている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域と協働した取組みを行うことができるよう検討をすすめていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士  
蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	4人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な研修へは参加するよう取り組んでいく。地域連絡会が開催される際は参加する。資格取得やスキルアップのための研修は、個人的に積極的に参加するようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の内容により必要なものには参加するようにした。事業所で参加できる地域連絡会の開催はないため参加していない。資格取得やスキルアップのための研修参加については、個人差がある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	9	1		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	5	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	1	8	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職務上必要な研修に参加することができている。</li> <li>職員会議でインシデント報告・検討がなされており、リスクマネジメントへの取組みができている。</li> <li>園内・園外研修に参加し質の向上に努めている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連絡会の開催について把握できていない。</li> <li>資格取得やスキルアップのための研修には参加できていない。</li> <li>特に今以上の資格取得を目指していない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で開催される会議には積極的に参加していく。職務上必要な研修については計画的に参加する。資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2018年10月1日～10月19日

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤、齋藤大、北畠、葛西、佐藤治、成田、齋藤慶、三上、川越、福士  
蒔苗、高橋、外崎、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	3人	0人	14人

前回の改善計画	・身体拘束をしないための対応について職員間で意識統一を図る。成年後見制度についての知識習得に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束をしないための対応については職員で意識統一を図り行わないことで徹底されている。成年後見制度については、利用している方がいないこともあり身近なものと感じられない部分もあった。引き続き知識習得に努める必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4			14
②	虐待は行われていない	10	4			14
③	プライバシーが守られている	4	8	1	1	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	2	10	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束撤廃委員会を発足し、定期的に会議を開催することで身体拘束に関する事業所の方針を全職員で共有できている。</li> <li>・入浴に際にプライバシーに配慮している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度を利用している方がいないため、制度に触れる機会がないことから学ぶ意識が稀薄であった。</li> <li>・基本的な個人情報は管理できているが、他利用者の経過記録等を見ようと思えば見える場所に置かれている等配慮が必要な状況もある。</li> <li>・排泄確認の声掛け等、改善する必要がある。自分の立場になって考えることが重要である。</li> <li>・入浴時に羞恥心に対する配慮が足りない。(特にリフト浴)</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー、特に羞恥心に配慮した声掛け、対応に十分に気を付ける。</li> </ul>	